

2017 年 1 月 27 日

(改訂日：2017 年 3 月 23 日)

お客様各位

株式会社セゾン情報システムズ

HULFT 事業部

HULFT Series 製品における Java の脆弱性 (CVE-2017-3289 等) に対する報告

HULFT Series 製品における Java の脆弱性 (CVE-2017-3289 等) に対する報告をご案内いたします。

－ 記 －

1. 脆弱性の内容

Java において、脆弱性が公表されました (CVE-2017-3289 等)。攻撃者に悪用されると、任意のコード (命令) が実行され、コンピュータを制御される可能性があります。

＜Java の脆弱性に関する情報＞

▼Oracle Java の脆弱性対策について (CVE-2017-3289 等)

<https://www.ipa.go.jp/security/ciadr/vul/20170118-jre.html>

▼2017 年 1 月 Oracle Java SE のクリティカルパッチアップデートに関する注意喚起

<https://www.jpCERT.or.jp/at/2017/at170005.html>

▼Oracle Critical Patch Update Advisory - January 2017

<http://www.oracle.com/technetwork/security-advisory/cpujan2017-2881727.html#AppendixJAVA>

2. 調査状況

上記脆弱性について HULFT Series 製品における影響をご案内いたします。

＜HULFT Series 製品 調査状況 - 2017 年 3 月 22 日 9:00 時点＞

製品名	調査状況
HULFT	影響ありません。
HULFT BB	影響ありません。
HULFT8 Script Option	影響ありません。
HULFT IoT	影響ありません。
HULFT-HUB	影響ありません。
DataMagic	影響ありません。
HULFT クラウド (Ver.1) HULFT-WebFT (Ver.2) HULFT-WebFileTransfer (Ver.3)	影響ありません。
HULFT-WebConnect	影響ありません。
HDC-EDI Suite	＜HDC-EDI Base＞ クライアントおよびサーバサイドにおいて、下記 15 点の脆弱性の影響を受けます。 Oracle Java をご利用のお客様は、クライアントおよびサーバサイドの Java 実行環境のバージョンに対する、最新

	update を適用してください。 CVE-2016-2183, CVE-2016-5546, CVE-2016-5547, CVE-2016-5548, CVE-2016-5549, CVE-2016-5552, CVE-2017-3231, CVE-2017-3241, CVE-2017-3252, CVE-2017-3253, CVE-2017-3259, CVE-2017-3260, CVE-2017-3261, CVE-2017-3272, CVE-2017-3289 <HDC-EDI Manager> 影響ありません。
iDIVO	影響ありません。
SIGNALert	影響ありません。

【改訂履歴】

2017 年 1 月 27 日	初版作成
2017 年 3 月 23 日	・ 下記製品の調査状況を更新しました。 HDC-EDI Suite (HDC-EDI Base の影響範囲にクライアントが含まれることを追記)

以上